

委員会審査

各委員会の議案審査では、次のような質疑応答がありました。



教育民生委員会

■審査した議案

議案第54号中の関係部分、議案第58号、59号

■主な質疑

Q委員 家庭的保育事業等の現状は。また、新規で実施しようとする事業者は、連携施設を確保しなくてよいのか。

A健康福祉部 現在2か所で小規模型保育事業を実施している。今回の改正で、新規事業者の連携施設確保は不要となる。

Q委員 P C B 処理収集運搬業務委託料の該当施設とその把握方法は。

A教育部 富熊小学校の照明器具に高濃度 P C B が使用されていた。昭和52年度以前に建設

した学校施設を再調査し、判明した。

■審査結果

付託された3議案は、採決の結果、すべて原案を可決とした。

都市環境委員会

■審査した議案

議案第54号中の関係部分、議案第60号、61号、63号、66号、69号、70号

■主な質疑

Q委員 今回購入する物品に市民交流活動センターで使用する備品は含まれているか。

A都市整備部 今回の備品は市庁舎で使用するもののみであり、市民交流活動センターの備

品は市民生活部で予算計上されている。

Q委員 市民交流活動センター条例では、使用料の減免や加算規定がわかりづらく、市民が利用しづらいのではないかと。

A市民生活部 広報紙やチラシ、ホームページなどでわかりやすく周知する。

Q委員 指定管理者に対するモニタリングの考え方は。

A市民生活部 あくまで運営主体が市であることを踏まえ、指定管理者への指導など対応していきたい。

■審査結果

付託された9議案は、採決の結果、すべて原案可決とした。

総務委員会

■審査した議案

議案第54号中の関係部分、議案第55号、57号、62号、67号、68号

■主な質疑

Q委員 消防団員等公務災害補

償条例の改正により、基本団員と機能別消防団員で違いはあるか。

A消防本部 両団員ともに、同様の取り扱いである。

Q委員 新型コロナウイルス感染症防止対策費用360万円の内容と内訳は。

Aポータル事業局 場内施設の投票台、手すり、トイレなどを対象に消毒用アルコール40万円、ペーパータオル270万円や職員用フェイスシールド20万円、ビニール手袋30万円など8ヶ月分の費用である。

Q委員 新型コロナウイルス感染症に係る寄附金税額控除について、イベントを中止するなどした主催者に対する払い戻し請求権を放棄した者が、税額控除を受けるための具体的な手続きは。

A総務部 文化・芸術などのイベント主催者が国へ申請し、認定された上で、参加者が証明書発行を依頼し、申告を行うこととなる。

■審査結果

付託された7議案は、採決の結果、すべて原案を可決とした。

質疑

議案の疑問点について、4名の議員が聞きました。

ポートレース まるがめに感謝

Q横田議員 今回の補正で、ポートレース事業から一般会計へ19億円の繰り出しを行うが、これまでの繰出金の実績と、直近3年間の状況は。また、今後の施設整備などへの影響はないのか。

Aポートレース事業局長 昭和27年の初開催から昨年度までの繰出金の総額は1357億6898万円、直近3年間では、160億7千万円である。また、ポートレースパーク化などプロジェクトの資金は、ポートレースまるがめの資金計画の中で調整・確保しており、今回の補正で影響を受けるものではない。

市民交流活動センター の運営管理

Q横川議員 市民交流活動センターの指定管理者にCCC（カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社）が選定されてい

るが、その経緯と期待する成果は。また、直営での運営管理を視野に入れるべきではないか。

A市民生活部長 4者参加の合同説明会を経て、1者の応募があった。成果としては、市民活動と協働のステップアップを期待している。また、施設管理のノウハウやネットワークの蓄積、不規則な勤務形態への対応など様々な要件を検討した結果、市と指定管理者が協議のもと、さらに必要なルール作りを行うことを前提に、指定管理者制度を導入することにした。

指定管理者 委託料の内訳は

Q中谷議員 CCCを市民交流活動センターの指定管理者として、年間1億3千万円もの委託料を払う予定だが、内訳は情報公開されていない。積算根拠が不明では、委託料が妥当か判断できない。管理運営費の内訳を説明してほしい。

A市民生活部長 金額の内訳に

ついては、CCCの施設運営ノウハウに係る情報であり、本性情報公開条例に規定する「当該法人の競争上の地位、その他正当な利益を害する恐れがあるもの」として、非開示としている。

ひとり親世帯への 臨時特別給付金

Q松永議員 ひとり親世帯臨時特別給付金について、対象者の把握、通知、申請や周知など、具体的なスケジュールは。

A健康福祉部長 今回の給付には、児童扶養手当受給世帯が対象となる基本給付と、新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変している世帯が対象となる追加給付がある。基本給付のうち児童扶養手当の全部または一部が支給されている人には7月22日を目的に、申請不要で支給する。また、公的年金の受給や所得制限により児童扶養手当が支給停止となっている人については、8月の現況届提出時に給付金の申請を受け付ける。追加給付についても同様である。なお、児童扶養手当などの認定を受けていない人に対しては、広

報紙やホームページで周知に努めたい。

討論

採決の前に議案に対する賛成×反対の意思を表明します。

《反対討論》 中谷真裕美

議案第54号 一般会計補正予算（第4号）

議案第69号 指定管理者の指定（市民交流活動センター）

理由 開館準備に携わった業者を含む偏った公募であり、委託料の詳細な内訳も不明である。公平性と透明性を欠く内容であるため、賛成できない。

広報広聴委員会 委員の選任

議会だよりの編集、議会ホームページ、議会報告会など議会の広報業務を担当します。

◎委員長 ○副委員長

◎大西 浩 ○香川 勝

武田 孝三 中谷真裕美

神田 泰孝 岡田 剛

内田 俊英 水本 徹雄

（16ページに関連記事）

永年勤続5名に表彰状を伝達

第96回全国市議会議長会定期総会、第82回四国市議会議長会

◆四国市議会議長会
《議員在職16年以上》

横田 隼人

定期総会において、各表彰規定に基づき、5名の議員が表彰状を授与されることとなりましたので、今期定例会で表彰状を伝達し、その功績をたたえました。

◆全国市議会議長会

《議員在職15年以上》

- 三宅 真弓
- 松永 恭二
- 多田 光廣
- 小橋 清信



人事案件

今期定例会に提案された人事案件は次のとおり（敬称略）。

▼公平委員会委員

多度津町 石合 由明

▼監査委員（議員選出）

川西町北 多田 光廣

▼農業委員会委員

- 金倉町 宮武 雅毅
- 今津町 大西 貴久
- 山北町 尾野 弘季
- 川西町北 石井 廣喜

三条町

飯野町東分

垂水町

土器町西

綾歌町岡田上

綾歌町岡田東

綾歌町栗熊西

綾歌町富熊

飯山町上法軍寺

飯山町西坂元

飯山町東坂元

山北町

横井 英明

葛原 忠嗣

大口 年昭

高吉 和博

久米 彰義

松岡 正雄

松岡 繁

平池 收

谷本 公紀

登倉 賢仁

大林 孝行

松下 孝江

令和2年6月定例会

賛否が分かれた議案の審議結果

議員名 ()内は所属会派	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
			武田 孝三(志政会)	竹田 英司(会派無所属)	東 由美(会派無所属)	中谷真裕美(会派無所属)	神田 泰孝(会派無所属)	岡田 剛(会派無所属)	大西 浩(市民クラブ)	香川 勝(志政会)	三宅 真弓(会派無所属)	川田 匡文(志政会)	真鍋 順穂(志政会)	松永 恭二(志政会)	多田 光廣(会派無所属)	横田 隼人(志政会)	小橋 清信(志政会)	横川 重行(市民クラブ)	松浦 正武(市民クラブ)	加藤 正員(市民クラブ)	山本 直久(志政会)	大前 誠治(志政会)	福部 正人(公明党)	内田 俊英(公明党)	水本 徹雄(市民の声)	国方 功夫(市民の声)	片山 圭之(市民の声)	
議案第54号	一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	指定管理者の指定(市民交流活動センター)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、-は除斥または欠席した者です。

※上記以外の議案はすべて全会一致で原案を可決しました。

今年度は私たちが「議会だより」をお届けします。



市議会も

オンライン
会議に
挑戦!!



中谷委員

教育現場やビジネスシーン、また、テレビ番組でも、オンライン会議やリモート出演を目にするようになりました。

丸亀市議会も、新型コロナウイルス対策だけでなく、災害など議員が参集できない場合に備え、「緊急時にも迅速な対処ができるように！」と、広報広聴委員会がオンライン会議を開き、いろいろと挑戦しています。



岡田委員

紙の資料を減らし、たくさんの情報を省スペースで参照することを目的に昨年度導入したタブレット端末。これをさらに活用するよう、意欲を持って取り組んでいます。



武田委員



災害現場の様を、リアルタイムで伝えることができる。

会議に参集できない状況でも、議会としての協議や判断が可能になる。

市の対策本部からの情報を、即時に共有できる。



神田委員



大西委員長

香川副委員長

山本議長

川田副議長

水本委員

内田委員

編集
後記

今年も全国各地で、これまでに経験したことのないような雨が降り、大きな被害をもたらしています。雨上がりには草木の新芽が鮮やかに、植物の成長に欠かせない雨の恵みを感じさせられる一方、雨は、人間の活動にとって不快に感じるだけでなく、時に人命を奪うほどの大災害を引き起こします。

思えば3年前は九州北部、一昨年は西日本、そして今年も九州や中部地方が、豪雨に見舞われ、毎年のように観測史上最多の雨量を記録しています。避難生活の難しさは常にあります。今年も感染対策にも気を配らなければなりません。

日頃から防災意識を高め、十分な備えを行いましょう。

広報広聴委員長

大西 浩